

菊池一秀市政レポート

きくち一秀 通信

2024.3
vol.2



初めて『代表質疑』に登壇！

京都市議員のきくち一秀です。いつも皆様にはお世話になっており誠にありがとうございます。

この4月で、京都市議員として活動を始めて1年となります。市議員の仕事に慣れるのと日々の活動を両立させるのは大変でしたが、皆様に見守っていただき何とかやってまいりました。

昨年の9月議会では、当時の門川大作市長に対して総括質疑を行い、主に「京都市と地域コミュニティとの協力関係」と「GIGAスクール構想」について質問し、市長からは「地域コミュニティとは協力していく」、「情報を取捨選択する能力を強化していく」との答弁をいただきました。

松井孝治新市長が就任して最初となる3月議会では、初めて代表質問に立ちました。(詳しくは裏面)

上記の質問やまちづくり委員会での質問も、地域の方々から日頃寄せていただくお声に基づき作成しております。皆様のお声を聞くのがさらに大事だと感じました。

また今後も右京区・京都市の皆様のお声を聞き、一つ一つ市政に反映できるように頑張っております。そしてお困りごとがございましたら遠慮なく、ご相談ください。

まだまだ経験の浅い私ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

予/算/要/望/提/出

令和5年11月1日(水)に天方議員(西京区選出)と議員団として門川市長に今後の京都市政への提案・要望をまとめた令和6年度予算要望(重点要望11項目、要望20項目、計31項目)を手渡しました。更なる市政の推進にしっかりと取り組んで参ります。

回答については、次号でお伝えさせていただきます。



いつも大変お世話になっております。きくち一秀君が議員に当選して4月で一年となります。この一年で彼は100件以上のお困り事に対応し、地域活動を通じて皆さんの意見を聞きそれを代表質疑や委員会等で質問するなど活発に活動されています。私も引き続き、きくち一秀君と共に京都市の為、国の為頑張っております。

衆議院議員 北神 圭朗

プロフィール

- 1993年11月24日生まれ
- 京都市右京区育ち
- 葛野小学校、西京極中学校、朱雀高校、大阪学院大学
- 2016年衆議院議員北神圭朗事務所入所 秘書
- 2023年4月京都市議員初当選
- 2024年無所属で活動 現在に至る
- 所属委員会 まちづくり委員会
普通予算・決算特別委員会第二分科会
- 特技 柔道(初段)
- 趣味 スイーツ巡り・野球・茶道
- その他(役職) 葛野自治連合会 総務
葛野体育振興会 副会長

お問合せ先



きくち一秀事務所

〒615-0871
京都市右京区西京極東衣手町86番地
石田ビル1F
連絡先 075-874-2870



令和6年3月市会 **きくち**の代表質疑

代表質疑
1

避難所運営について

近年では地域力の低下で共助の力が弱まってきており、特に消防や警察は災害が起きた際は災害対応に忙殺され、避難所運営などの地域対応ができなくなると、言われています。そこで共助と公助の役割分担の見直しが必要だと感じています。公助面をもっと伸ばし、自主防災会と区役所の連携を密にすることがこれからの地域防災としては重要になるのではないかと考えております。

そこで提案です。地域との連携をもっと深めるために消防分団と同様に各学区に担当職員制を設けるべきではないでしょうか。担当制は地域と行政が顔の見える関係になり、震災時の避難所運営を円滑にするために必要です。

地域住民と一般職員が普段から顔の見える関係を築いていないとお互いに相談しにくく、揉める原因にもなります。

その為、担当制を設けて公助として対応できるようにすべきです。お考えをお聞かせください。



危機管理監答弁

菊池議員ご指摘の担当職員制も含め、区役所・支所において、それぞれの地域実情に応じた職員派遣体制を構築しており、職員の被災の可能性やより被害や避難者の多い地域に職員を多く配置する必要性なども想定し、柔軟に対応する必要があります。

引き続き、職員と地域住民の皆様との信頼関係を基本に地域の実情に応じた派遣体制を構築するとともに、災害発生時の状況に応じた的確に対応できるよう取り組んでまいります。

代表質疑
2

LPガス災害バルクの各体育館への設置について

体育館は災害時に避難所としての機能を有しているため、体育館の空調設置は災害対策と教育環境改善の2つの側面で有効な対策です。

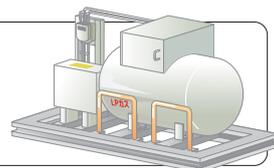
ただ、大規模な災害が発生すると、生活インフラである「都市ガス」や「電力供給」が途絶える危険性があり、エネルギー供給の空白期間が発生してしまいます。エネルギー供給が途絶えると様々な問題が起こることが想定されます。そこで、LPガス災害バルク※を各体育館に設置し、災害時に活用してはいかがでしょうか。

LPガスは都市ガスなどの集団供給エネルギーと違い個別分散供給のエネルギーなので「復旧が早い」「備蓄できる」というメリットがあるほか石油と比べて「劣化しない」など災害に強いエネルギーです。

また、LPガスでガス発電機を使用すれば、電力供給も可能となります。つまり、大規模な災害によりエネルギー供給が途絶えるような事が起きても「LPガス災害バルク」と周辺設備を組み合わせる事で災害時の十分な備えとなります。

例えば「災害バルク」と「ガス機器」を組み合わせることで、調理、給湯、空調をカバーし、災害時における生活環境を支えることができます。LPガス災害バルクの設置をぜひ進めるべきと考えます。

※LPガス災害バルクとは
LPガスを備蓄するバルク貯槽と供給設備（ガスメーター、調整器、ガス栓等）が一体となった設備です。



教育長答弁

菊池議員ご指摘のとおり災害時の避難所機能の向上のため、空調整備や都市ガスや電力供給が途絶えた場合の代替え電源や熱源の確保が重要な課題と考えております。

LPガス災害バルクを含めたエネルギー供給の仕組み等についても多角的・総合的に研究してまいります。

要望

外国人の土地取得の問題について

京都市も国に対して早急な調査を依頼すべきではないでしょうか。外国人の土地取得問題は今後全国的な課題となっていくことは明らかであり、資産運用等で容易く京都市の土地を購入されると、土地の値段が高騰しマンションの値段も上がるため、若い方が今以上にもっと住めなくなる可能性があります。門川市政で力を入れてこられたまちづくりや空き家再生なども外国人の資産運用に利用されるとせっかく税金を投入し市民のためにしていることが水の泡になるのではないのでしょうか。市長の方からも国に対して調査の依頼をお願いできないでしょうか。

